

# 立地適正化計画について

平成30年8月30日

田川市

## 概要

公共施設、医療・福祉施設、商業施設等がまとまって立地し、高齢者をはじめとする住民が地域公共交通により、これらの施設に容易にアクセスできるなど、福祉や公共交通等も含めて都市全体の構造を見直し、持続可能でコンパクトな都市の形成を目指す計画

## 全国の市町村が抱える問題

### ①公共施設の維持費増大

公共施設が点在し、また、老朽化が進んでいるため、今後、維持費が増大する。

### ②利便施設の減少・撤退

利用者が減少することで、近隣の商店や診療所、金融機関等が廃業・撤退し、生活が不便になる。

### ③公共交通のサービス低下

公共交通の利用者が減ることで、便数の減少などのサービス低下を招き、自家用車を持たない人の外出機会が減少する。

全国の市町村では、これらの問題が将来にわたって拡大すると想定される。そこで、「まちづくり」の視点から、機能や施設等の立地の適正化(何を・どこに)を考えることで、これらの問題に対応する。

## 計画の記載内容

立地適正化計画区域

居住誘導区域

都市機能誘導区域

地域公共交通

### 都市機能誘導区域とは

鉄道駅やバスセンター等が存在し、市内各地域からの交通利便性が高い上に、**都市機能増進施設**が集中し、各種サービスを効率的に提供していく区域

#### 都市機能増進施設とは・・・

商業・医療・福祉等の施設の中で、比較的大規模で、多くの人が利用する施設

例) 市役所、福祉センター、病院、文化ホール、図書館、子育て支援センター、商業施設(集積体)、銀行 等

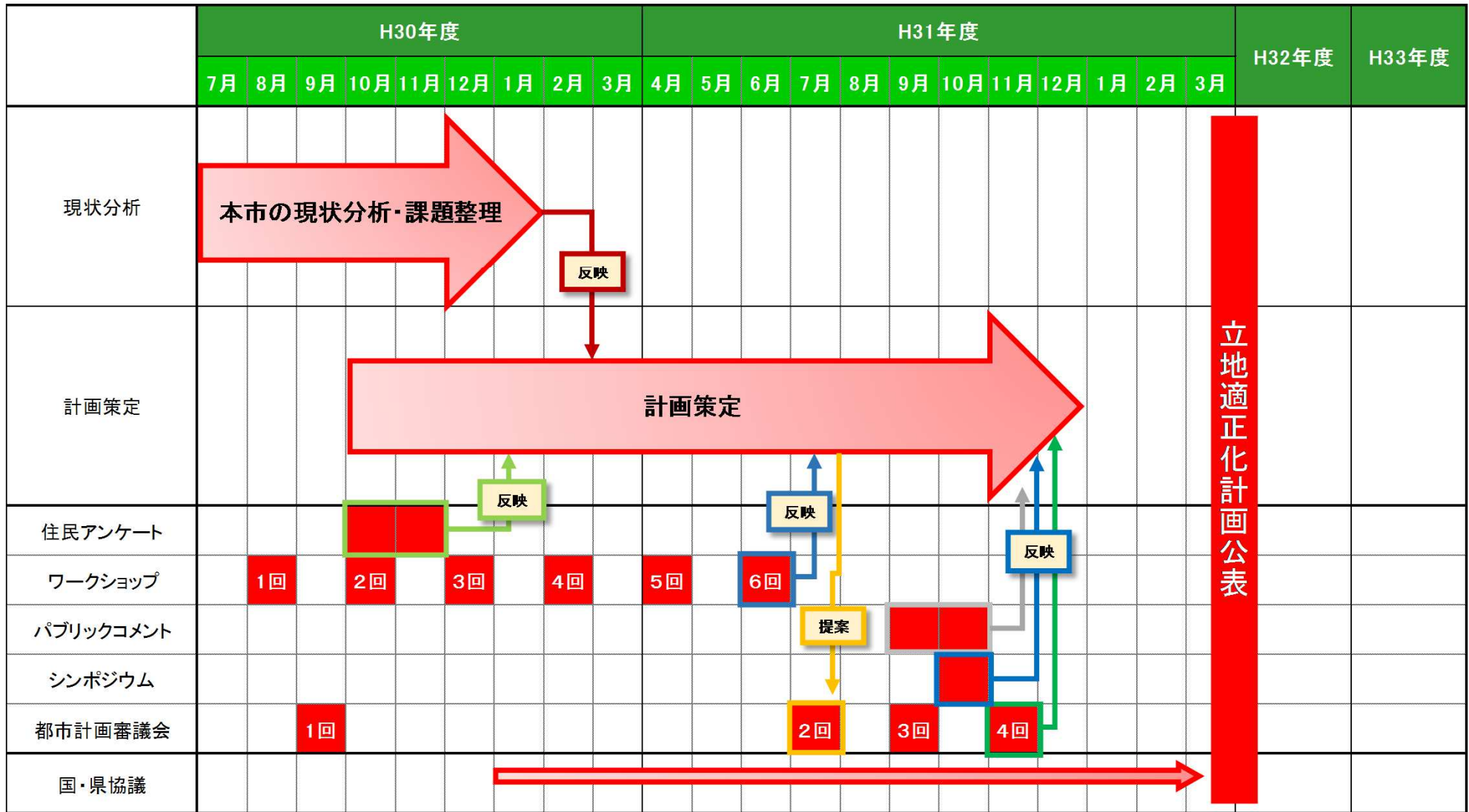
### 居住誘導区域とは

人口密度の維持を図り、公共交通や商業等の機能を持続的に確保する区域

重要

公共交通の沿線に誘導区域を設定することで、都市機能増進施設へのアクセスを確保し、住民全体の生活利便性を高める計画にする。

# 田川市立地適正化計画策定スケジュール



『次世代につなごう！田川市のまちづくりを考え・動く会』の今後の予定

	日程	議論テーマ	議論時間
第1回	平成30年8月30日	田川市におけるまちづくりの良い所と課題をあげてみよう	約20分
第2回	平成30年10月12日	実際に見てきた田川市の良い所と課題をまとめよう	約50分
第3回	平成30年12月11日 (予定)	まちづくりの中で自分たちが取り組んでみたいことを決めよう	約50分
第4回	平成31年2月19日 (予定)	どのエリアにどんな施設が必要か考えてみよう	約50分
第5回	平成31年4月18日 (予定)	市内の公共交通はどうあるべきか考えてみよう	約50分
第6回	平成31年6月21日 (予定)	未定	約30分